

令和6年度第2回 京丹後市社会教育委員会会議（会議録）

1. 日 時：令和6年12月17日(火)午後1時30分～午後2時43分
2. 会 場：アグリセンター大宮 1階 視聴覚教育室
3. 出席者氏名
(社会教育委員)、橋垣委員2、藤村委員、吉野委員、李虎委員、和田委員、岩田委員、西原委員
※欠席：3人（大谷委員、土出委員、中山委員）
(事務局) 教育長 松本明彦
教育次長 川村義輝
生涯学習課 課長 松本優、課長補佐 小森教正、主任 野村拓矢
スポーツ推進室長 下戸裕子
図書館長 亀田真奈美
政策企画課 主任 石井真澄
4. 内 容
下記及び別紙次第のとおり
5. 公開又は非公開の別 公開
6. 傍聴人 0人

次第

1. 開 会
2. 開会あいさつ

京丹後市社会教育委員会会議議長

京丹後市教育委員会教育長

3. 協議事項
(1) 京丹後市公民館の再編について（資料No1）
(2) (仮称) 市民大学について（資料No2）
(3) 令和7年度社会教育・社会体育関連予算について（資料No3）
4. 報告事項
(1) 令和6年度「丹後地方社教委連だより」について
編集委員：橋垣委員
原稿投稿者：藤村委員
(2) 都市拠点構想について
5. その他
6. 閉会あいさつ
京丹後市社会教育委員会会議副議長

【会議録】

開会
事務局

皆さんこんにちは。お一人の委員が、まだお見えではないですが、おいおい来ていただけると思いますので、始めさせていただきます。

師走も中旬にさしかかりまして、そろそろ慌ただしくなってきた頃かなと思いますが、お集まりいただきましてありがとうございます。

ご案内の時間になりましたので、ただいまから令和6年度第2回の社会教育委員会会議を開催させていただきたいと思います。

早速ですが開会にあたりまして、京丹後社会教育委員会会議の和田議長よりご挨拶を申し上げます。

開会挨拶
和田議長

皆さんこんにちは。12月になって、皆さんお忙しくされていると思いますが、今日のご苦労様です。

私も民宿をしております、毎日カニと格闘しておりますが、都会の方が、京丹後はいいとこだと言ってくださってとても喜んで帰ってくださるので、その嬉しそうな顔を見ながら日々頑張っております。

私は、社会教育委員として、教育振興計画などの会議に出させてもらっております。いろいろ考えさせてもらう中で、今日の社会教育委員会会議で皆さんとお話したことをもとに、市の審議会にも出ていきたいと思いますので、皆さんのたくさんの意見を今日は聞かせていただきたいと思います。どうかよろしくお願いします。

事務局

ありがとうございました。
続きまして京丹後市教育委員会松本教育長よりご挨拶申し上げます。

松本教育長

皆さんこんにちは。

第2回の京丹後市社会教育委員会会議を開催しましたところ、出席いただき、本当にありがとうございます。委員の皆さんには、年末の忙しい中ということでなかなか出にくい中、足元の悪い中でも来ていただきまして、お礼申し上げます。学校現場におかれましても、厳しい学期末という設定になり申し訳ありませんでしたけど、出席いただきましてありがとうございます。

さて、京丹後市は学校教育から社会教育、生涯学習につないでいくというところで、生まれた子どもたちから高齢者までが学び続けるとい、社会の中でどう子どもたち、そして一般の社会人の方々の学びを保障していくのかというのが大きな課題となっているところであります。

ただ、その支えとなる子どもたちが、少子化で厳しい状況になっておりまして、ここにおられます委員さんがやっておられる、朝の「モーニング・サンド」のラジオ番組をいつも聞かせてもらっておりますが、月曜日の「命の時間」で、前の週に生まれた子どもの保護者と子どもさんの名前を放送してくれるんですが、何人生まれたのかな、どこで生まれてるのかなっていうのはいつも気になって聞かせていただいているんですが、1週間に1人とか、2人とか、このままだと52週だと100人かと思うんですけど、何とか本年度は260から270人ぐらい生まれる見込みらしいんですけども、今、学校現場で驚いておられるように、中学3年生は400人がいるんです。中学2年生から下は300人台になって、小学1年生が初めて300人の前半になっているところから、ぐんぐん減ってこの3年は200人台というようなところで、本当に少子化の中で、学校教育からどう社会教育に繋いでいくかという大きな課題となっております。京丹後市では保幼小中一貫教育と

ということで、保幼小中という接続から高校の連携というところを熱心に進めているところ
です。高校を出たその先の生涯教育、社会教育というところが、どう繋いでいくかが大き
な課題となっているところです。

先ほど言わせていただきましたように子どもたちが少ない分、長寿の町ですので高齢者
も含めた社会教育の層が厚いということになりますので、そうした方々の学びをどう保障
していくかということも合わせて、皆さんと一緒に考えていく機会になればというふうに
思ってます。

今日は、来年度からの新コミュニティに関わる各関係による公民館活動についてですと
か、さらには、先ほど言ったように高齢者だけではなくて、社会人となった若者たちにも
どう学びを保障していくのかというところでの、市民大学についてのことですか、さ
らには、京丹後市が来年度、どんなふうに社会教育を進めていくのかという予算のことと
かについて、皆さんに率直なご意見をいただこうというふうに思っております。

忌憚のない意見を多くいただきまして参考とさせていただきたいと思っておりますので、今日
はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局

今日の出席についてですが、お一人委員さんが授業の関係でご欠席ということでご連絡
をいただいておりますし、また別の委員さんにおかれましては仕事の都合で遅れて出席さ
れるということです。状況によっては欠席かもわからないということでご連絡をいただい
ております。

ご了承いただきたいと思います。

この会議は公開で開催をさせていただきます。現在の傍聴者はなしという状況ですので、
報告をさせていただきます。また、この会議は会議録を作成するために録音させていた
だきます。会議でのご発言の際はマイクをご使用していただき、ご発言をお願いしたい
と思います。よろしくお願いします。

また、後日、会議録に署名をいただく委員さんとしましてお一人の委員さん、お世話に
なりたいたと思います。よろしくお願いいたします。

はい、議事に入る前に、本日の資料の確認をさせていただきますと思います。

まず、会議次第をつけております。次に、資料ナンバー1としまして、京丹後市公民館の
再編について、次に資料ナンバー2としまして、仮称市民大学についてという資料をつけ
ております。資料ナンバー3ですね、令和7年度社会教育・社会体育関連予算についてと
いうことで以上の資料を準備しております。資料ナンバー3につきましては、来年度の予
算資料ということで、まだ未確定な部分が多いため、この会議終了後、回収をさせてい
ただきたいと思っております。ご了承いただきたいと思います。資料の配付漏れ等ありましたら、
お申し出いただけますでしょうか。大丈夫でしょうか。

それでは、この後の議事につきましては、和田議長さんの方でお世話になりたいと思
います。よろしくお願いいたします。

和田議長

それでは議事を進めさせていただきます。
協議事項1、京丹後市公民館の再編について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

<事務局説明>

和田議長
委 員

事務局からの説明に対して、ご意見やご質問がありましたらお願いします。
私も区の役員をしてまして、この前、新コミの会議をさせてもらった中で、公民館活動
の話もさせてもらったのですが、その中で地域の人は「公民館がなくなる」というのがどう
しても出ていまして、いやそうじゃなくて、実施主体が変わって広域で公民館活動、地域
の活動の中に組み込まれるんだという話はしているのですが、「公民館がなくなる」「公民

館という名前をもうつけたらあかんのだ」というような意識が強くて、新コミの中で公民館部という名前を付けても構わないでしょうし、今までからずっとなじみのある名前でもあるので、私も説明をしたりするんですけど、どうしても「公民館がなくなる」ということばかりが先走っていきまして、もうちょっとそのあたりを十分な説明が必要かなというふうに思いますね。

事務局

今、委員の方からもありましたけれども、やはり公民館がなくなるというのが、公民館を主体的に動かしていただいた方にはそういうイメージがあったり、地域の方にもそういう方がおられるという声も聞かせていただいております。

公民館の組織が、委員からもありましたが、各地域によって、公民館という名前を残される組織もあれば、教養厚生部とか文化部とか、総務の方が担当するというようなところもあったりと、様々、地域によって、どこが主体的に公民館活動が続けられるかというのがこれから見えてくるところかというふうに思っております。

皆様の方にも、そういったアナウンスを継続して、公民館活動は基本的にはなくなりませんということを、実施主体が変わるだけで、活動としては継続して、地域づくりの方に役立てていただきたいというふうに思っておりますので、十分にアナウンスの方もさせていただけたらというふうに思っております。

補足ですが、先週、市の公民館連絡協議会の臨時総会を開催しまして、市の連絡協議会が持つてくる規約の廃止の議決をさせていただいたんです。どうしても廃止や、なくなるといった説明が先行しがちなのですが、そうではなくて、公民館活動はこれまで通り、新たなコミュニティ組織の中で位置付けてやっていただけるんですということを、意識してしてるつもりではあるんですけども、そういった手続きを一応踏まないといけないということで、そういった経過もありますので紹介をさせていただきます。

和田議長

これに関してでもいいですし、また別の意見でもいいんですが、どなたかありませんでしょうか。

私は久美浜の湊というところですが、明日、「チームみなと」の会議があります。今度、コミュニティになったときに、何とかという部会の名前がついていますが、部会に変わるんですけど、そこにチーム湊はごっそり行くんですし。それとは別に、公民館、今までの従来の公民館がやってるのが、何部だったか忘れましたがありまして。あと福祉部と、3つぐらいに分かれてやるっていうのは聞いています。また、明日どういう話し合いになるのかなと思って、楽しみにしています。私たちのチーム湊は、楽しいことをやる部会なので、冬の餅つき、焼き芋など、そういう話し合いになると思うんですけど、地域でやり方は変わっても、地域を盛り上げようという意識で皆さん頑張っておられます。また、地域に戻って皆さん協力されたいかなと思います。

ご意見ないようでしたら続きまして、協議事項の2、市民大学について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

<事務局説明>

和田議長

これに関しまして皆さんのご意見、質問とかありましたら聞きたいと思います。その前に1つ聞かせてもらっていいですか。令和6年度に2講座を実施済みって書いてありますけど、具体的には何と何をされたんですか。

事務局

1つが狩猟講座です。有害鳥獣の関係のことでございます。鹿とかイノシシの被害も市内で結構な被害も出てきておりますので、狩猟免許の取得者の

方も、京丹後の方では、少し課題にもなっているということで、農林整備課とともに、共同で講座の方を実施させていただきました。11月に1回、講座の方をさせていただいております。

もう1つが、京丹後の地域の企業を知ろうということで、丹後機械工業協同組合さんと丹後織物工業組合の皆様にもお世話になりまして、地元企業の紹介であったり、素晴らしい地元企業もありますよ、ということで、講座を1回だけ開催をさせていただいております。

和田議長 皆さんご意見とかご質問とかございませんでしょうか。

委 員 人数は、参加人数どのくらいだったのか。

事務局 参加人数が、有害鳥獣講座の方が会場で参加していただいた方が15人前後。企業紹介の方が6、7人の参加だったということで聞いておりまして、今回、高齢者大学から市民大学講座への移行の年ということで、高齢者大学の、いわゆる従来からあった教養講座ですとか、そういった講座と、市民大学のこれらやろうとしてる講座を併用してやってる年ということでして、なかなか周知がうまくできてなかったという反省点が、見えてきまして、来年度に向けてそういったところを改善して、さらに多くの方々に受講していただきたいというふうに考えております。

オンラインの受講者もなかなか確保できなかったということで、そういったあたりも改善点ということで、より多くの方に受講していただきたいということで、ちょっと方法をまた検討させていただきたいということで考えております。

委 員 今後の講座はどういったものをされるご予定なんでしょうか。

事務局 来年度は、1つ具体化をしかけておりますのが、家庭菜園の方から触れていただくということで、そこから京丹後市の農業に携わられる方が少ない状況もありますので、まずは家庭菜園の方からモノを作って自家消費していく。そして、有機農法も京丹後市は進めておりますので、そういった部分につなげていければということで、いま一つ具体化をしかけているところがございます。

委 員 それがまず1つだと思っんですけども他は、もうその1つしか上がってないんでしょうか。

事務局 今現在、令和7年度の予算に向けて編成作業中ということで、どんな講座をするかということ 아이디어ベースで出し合ってる最中です。

例えば、防災意識を向上させるための講座ですとか、今年、石川県で大きな地震がありましたので、同じような半島の状況にある丹後半島です、そういった、地震に対する防災意識を高めようですとか、そういった講座を今アイデアベースとして検討している最中です。まだまだ、十分な検討はしきれませんが、これから頑張ってアイデアベースで出していきたいなというふうに考えております。

委 員 それでしたら1つ提案させていただきたいんですけども、私、仕事自体はラジオの方をやらしてもらってるんですけども、京丹後市で、演劇をしてる団体がいないなということで、昨年、演劇、劇団を立ち上げておりまして、ワークショップとかも、それは別の団体さんがやられたところとかと加わせていただいてやったことがあったんですけど、とても楽しかったんですね。京丹後市の方って、本当に、私もともと京都市内の人

間なんですけど、シャイな方が多くて、1回自己表現とかそういうのをしだすと、結構楽しいのではないかなと思って、もっと若い人も来ていただきたいんですけども、ご高齢の方も年齢関係なく、いろんな方に自己表現する場所、ワークショップであつたりとか、そういういわゆる講演とかじゃないんですけども、講座としてみんなで楽しんでもらいたいなものを、させていただける機会とかがあれば、お話いただけたらと思います。自分の宣伝になりましたけども、よろしくお願いします。

事務局 ぜひ後で詳しく教えていただきたいと思います。また、検討に加えさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

委 員 まずこれを知らなかったっていう私が悪いかもしれないんですけど、その告知とかに、若者18歳以上となってくると、高齢者から18歳ってすごい幅が広いから、どこをターゲットにしていくのかなっていうのはあるんですけども。

例えば、私、今スポーツクラブをやらせてもらっていて、「どうやって運営してるんですか？」みたいな、SNSからのDMを京丹後市内の野球やソフトボールなど、スポーツをやってらっしゃる方からいただいたりするんですね。

講座、運営、私は株式会社ですけども、もうちょっと、小さい規模での運営の話だったりもできるかなとか思うのと、なんかPRとかにうちの選手とかを使ってもらって、うちのSNSは結構強いフォロワーも多いと思うので、そういうこともやると、若者達にも届くのかなとか思ったりします。

最近、峰山高校の地域コーディネーターとして、うちのスタッフが入るようになったので、そのあたりの連携も取れるかなと思ったので、私も何か自分の宣伝みたいになっちゃって申し訳ないんですけど、何かお役に立てるかなと思いました。

事務局 はい、ありがとうございます。
どういう枠組みで連携させていただくかというところが、また調整が必要かなと思いますので、またそのあたりも調整をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

和田議長 委員をお願いします。

委 員 趣旨はよくわかりますし、いいと思ってます。
今お2人のご意見もあって、探っていくとそういう提案型のものがどんどん出てくると思います。

もう1つは広く市民の方に、参加してもらおうという前提の部分としては、どういうことが開催されると、どういう内容で開催されると、参加したいと思うかって言うところの要望を収集するところが非常に重要ではないかと思います。

多分講座のときにアンケートなんかを取られてはいるけど、まだ、スタートアップとしては参加人数が少ないので、アンケート自体がまだ少ないじゃないですか。だから、もうちょっと別の方法で市民から、こんな、こんな講座があると嬉しいんだけど、みたいなものをどんどん収集していく。まとめるのはちょっと大変ではあるかもしれないけど、市民ニーズがどの辺に、特に強いのかっていうのを、まずデータとして持つという意味では、必要なことかなあと思います。

それから、今のお2人の意見も聞いてて思ったんですが、市民の中でそういう社会教育活動に繋がることを、団体としてしてらっしゃる方は随所におられると思いますが、それぞれ運営のノウハウというか、どうするとより効果的な活動になるかというようなところには、みんな悩みを持っていると思います。

だから、運営のコーディネーター的な立場の人がいろいろなアドバイスがもらえるような、こういう市民大学なんかもあっていいかなと思います。

京都府さんが去年されたのに参加したことがあって、まずNPOっていうのが、どういう位置付けかっていうことそのものも、実は私も誤解してたところがあったので、そういう活動の仕方の基本的なところをクリアすると、広く、多くの人に参加してもらいやすくなりますよ、みたいな、運営側の方の研修会的なものもあっていいんじゃないかなと思いました。

事務局 はい、ありがとうございます。十分なニーズ調査ができずに、スタートしてしまったところがありまして、委員さんがおっしゃるような、もう少し前段階の準備、どういった講座、どういった講座を市民の方々が求められているかっていうニーズを、方法を検討してさせていただきたいなというふうに今思っております。

和田議長 他にございませんか。私、高齢者大学に声をかけてもらって、久美浜でやってる古典講座に40代の後半から行かせてもらって、あれは地元でやるから、近くなのでいけるといふ。これを市民講座となると、出向くのがきっと峰山か大宮になるのですか。それかオンラインか。ですね。だから出向いてでも参加したいとか、魅力のあるものだったらいいなと思います。

 高齢者大学が久美浜でいろいろ見させてもらって、どの教室も結構な人数がいらっしゃるように思うんですけど、やっぱり、近くでできるからっていう魅力もあるのかなと思うので。それに匹敵するだけの人数を集めようと思ったら、やっぱりいろんな内容の吟味が必要なんじゃないかなあと思いますが。毎年、結構な人数ですよ、地域の講座が。

事務局 各地域公民館の方でも、市民大学としての講座も実施を予定しております。京丹後市内全域を対象としたものもあれば、これまでの地域公民館ごとの市民大学として、地元の特化したそれぞれに応じたものも検討しておりますので、市全体で取り組む講座もあれば、これまで通りの各町の市民講座というものも検討はしております。

 ただ本当に魅力あるものがあれば、京丹後市内どこでも来てもらえる環境というのはあるかなと思いますので、皆様からの貴重な意見を参考としながら、より効果的な講座になればと考えております。

和田議長 他にありませんか。
ないようでしたら、協議事項3 令和7年度社会教育社会体育関連予算について、事務局より説明をお願いします。

事務局 <事務局説明>

和田議長 ありがとうございます。今の説明を受けまして、質問とかご意見とかございませんでしょうか。委員さんお願いします。

委 員 アグリセンター大宮のホールを使わせていただいたときに、エレベーターが故障していて、障害者の方々が車椅子が利用できないっていうネックがあって、それからもう数年経ってるんですけども、今現在は使えるようになっていっているのでしょうか。予算に上がっていなかったのも、たいへん高いものなのでなかなか難しいのかなと思いますけども。

事務局 はい、ありがとうございます。
アグリセンターにエレベーター設置してあります。設置してある場所が、ホールの袖の控

え室の中に設置してありまして、どちらかというと、出演される方が控え室からホールの方に上がっていく、控え室に行くためのエレベーターなんです。

なので一般の来場者が非常に使いにくいエレベーターになっておりまして、平成29年から故障しているんですけども、故障したときに予算要求は原課からしたようですが、見積もりを取ると850万円ほどの経費がかかるということで、その時点で、その段階でもうここはもう修繕しないということで決定されたということで聞いております。使用中止という状況です。平成29年以降ずっとその状況が続いております。

ただ、障害者の方が利用されるというケースもあると思いますので、1つ問い合わせがあったのが、図書館を利用されるときに、上の玄関から入ったときに利用しにくいというような声がありました。そういった場合は、こちらの西側の玄関から入っていただいたら、スロープがついてますし、バリアフリーにもなっておりますので、そちらの方からご利用いただきたいということでご説明させていただいた経過があります。

委員 ありがとうございます。さすがに850万円を、何とか直してくれとはとても言いにくいので。それは問題ないんですけども、今日、はじめて1階とお伺いしてたんで、正面からではなく、下の駐車場に停めさせてもらって、入ろうと思ったんですけど、正直、(入口)わかりづらいです。駐車場の方から1個目の扉が開かなくて、結局、正面に回らないといけないのかと思いながら歩いてたら、またドアがあって開けさせてもらったんですけど、「アグリセンター1階とか図書館」とか、利用される方に、せめてわかりやすいようにしてもらえるといいなと思いました。

和田議長 他にはございませんか。私が質問してもよろしいでしょうか。
この社会教育委員設置事業の近畿地区研究集会への不参加について、昨年、お一人の委員と2人、京都の大会に行かせてもらった、あれのことですね。
今年、令和7年度は和歌山であるとお聞きして楽しみにしておったのですが。京丹後市がいかないのは、いかどうか別として。丹後教育局全体で皆さん行かれないということなんでしょうか。

事務局 局管内、各市町、局の方でも多分行かれる可能性はあろうかなと思っておるんですが、今回予算の都合もありまして、来年度が和歌山ということで、遠方ということもありましたので、減額の形でいま要求という形を取らせていただいている状況です。

和田議長 わかりましたが、昨年、お一人の委員と参加させていただいて、とても勉強になったので、たった2人ではもったいないと言いながら、来年はもっとたくさんで参加できるといいなって言いながら帰った記憶があるので、どうなのかと思って伺いました。和歌山が遠いのはよくわかってますが、内容がとても素晴らしかったので、是非たくさん参加できたらいいなとは思ったんですが。

事務局 そうですね皆様方にも、こういった様々な場面に出ていただいて他の地域の活動であったりとか、他の市町の皆様との交流という部分で情報収集などもしただける場というふうには思っております。
近畿だけではなくて、来年度は京都府の総会、研修会ともに南部の方で、京田辺とか、大山崎の方での予定をされておられるかなと思っております。そちらの方はまた、こちらのメンバーの中からどなたかがご参加いただければなというふうにも考えてはおりますけれども、今回、近畿の方はたいへん申し訳ございません。要求の方が、そのような形をとらせていただいているということで、ご説明ちょっとさせていただきたいと思っています。

和田議長 わかりました。ありがとうございます。他にはございませんか。
ないようでしたら、報告事項1 令和6年度 丹後地方社協委だよりについて事務局より説明をお願いいたします。

事務局 ＜事務局説明＞

和田議長 ありがとうございます。お二人の委員よろしく申し上げます。
これに関してご意見ご質問がありましたらお願いします。
ないようでしたら、続きまして、報告事項2 都市拠点構想について、事務局より説明をお願いします。

事務局 ＜事務局説明＞

和田議長 今の説明に対しまして、ご意見ご質問ございませんでしょうか。
今、初めて聞かせていただいたので、もう進んでるのかなと思っていたので。また、進捗具合を教えていただけたらありがたいと思います。

委 員 目標としてはいつ頃（聞き取り不明）……。

事務局 当初、整備の基本計画においては令和10年ごろの供用開始を目指していたんですけれども、少なくとも予定より1年は後ろ倒しになってしまったので、今、1つの目標として思っておりますのは、令和11年であつたりですとか、そのあたり、基本的にはその山陰近畿自動車道が繋がって、新たな玄関口が生まれるタイミングの機をなるべく逸しないように、そのあたりを目標にとらえながら、調整を進めて参りたいなと考えておるんですけれども、幾分その用地の関係が、市で完全にグリップできるような領域ではございませんので、その辺りは明確にここで供用開始というのをお伝えするのは難しいんですけれども、そのあたりを目指しながら、整備検討を進めて参りたいなというふうに思っております。

和田議長 続けてよろしく申し上げます。せっかく、良い道路ができますので、それに合わせて子ども達にとっていい施設ができますようによろしく申し上げます。
協議事項及び、報告事項が終わりましたので、これ以降の進行については事務局にお返しします。よろしく申し上げます。

事務局 和田議長さんスムーズな議事進行ありがとうございました。
事務局から、1点お願いがありまして、先ほど地区公民館が廃止されるというようなことでご説明させていただきましたが、それに伴いまして、公民館の再編計画という計画がありまして、これ議会の承認案件となつていまして、その計画を変更するということで、議会の承認を得る必要があるということで、これから事務局の方で、その原案を作成していく必要があります。その原案が作成できましたら、再度、皆さんにお集まりいただいて、こういう計画でいきたいということをご説明させていただきたいというふうに思っております。
その予定が、おそらく来月1月中には原案の作成ができると思いますので、また改めて委員の皆さんの日程調整させていただきまして、また日にちを決めさせていただきたいというふうに思っておりますので、お忙しい中とは思いますが、またご協力をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
それでは会議の閉会にあたりまして、山副副議長さんの方から閉会のご挨拶を申し上げます。

山副副議長

委員の皆様におかれましては年末のお忙しい中、社会教育委員会議に参加いただきまして、熱心に議論いただきました。貴重なご意見等をいただいております。ありがとうございました。

インフルエンザが非常に流行っております。皆さま方には健康に十分留意されまして、まだ少し早いですが、良いお年を迎えていただきますよう、よろしく願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。今日はご苦労さんでございました。

事務局

本日の会議はこれで終了とさせていただきたいと思います。

委員の皆様ありがとうございました。お疲れ様でした。

資料3のみ机上の方に置いて帰っていただけたらなというふうに思っております。